



担当課	文化振興課(博物館)
担当者	前田・富永
電話	073-423-0003

令和5年5月24日

和歌山市立博物館企画展

「弥生・古墳時代のムラー市内津秦・井辺・神前周辺ー」
を開催します！



和歌山平野南東部の道路建設に伴う発掘調査などにより、弥生時代から古墳時代の水田や畠、建物跡などが発見され、土地の成り立ちや当時の人々の営みが詳細にわかってきました。

出土した土器や木器（農耕具、祭祀具）とともに、当時のムラを襲った洪水や地震などの自然災害の痕跡、植生環境を探る花粉分析や、土器に付着した炭素を分析した年代測定などの分析結果もあわせて紹介します。

展示予定件数 約200点。

- 展覧会名称 企画展「弥生・古墳時代のムラー市内津秦・井辺・神前周辺ー」
- 会 期 令和5年5月30日（火）～令和5年6月18日（日）
休館日：月曜日
- 開館時間 9時～17時（ただし入館は16時30分まで）
- 入館料 一般：100円 高校生以下：無料
※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料
※団体（20人以上）は2割引
- 会 場 和歌山市立博物館 2階特別展示室
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 TEL：073-423-0003
FAX：073-432-9040

主な展示資料は別紙のとおり

主な展示資料

ムラのくらしの様子

①井戸枠【井辺遺跡出土】

井辺遺跡の中央東側の発掘調査では、古墳時代前期（3～4世紀頃）に使用された直径約2mの井戸が発見されました。その井戸底には、木製（アラカシ）の井戸枠が設置されていました。井戸枠は高さ79.5cm、直径64.5cmで、外側に3本の葛が巻かれた状態で見つかりました。丸木を削り抜いて作られたもので、内面には漆が塗られており、元は底板をはめて桶として使われたものを、後に井戸枠として転用したようです。



井辺の豪族が座ったイス？

②腰掛け【井辺遺跡出土】

井戸遺跡の東側の発掘調査では、弥生時代後期後半から、古墳時代前期にかけての竪穴建物や井戸、墳丘墓が発見されました。墳丘墓の一つは、前方後方形で和歌山県内でも数少ない珍しい形でした。井戸からは、大量の土器とともに、数多くの木製品が出土しました。そのなかでも、腰掛け（ムクノキ）と木甲（トチノキ）は県内で初めて出土した珍しいもので、いずれも地域の有力者が使用した可能性があります。



権力をあらわす武具？

③木甲【井辺遺跡出土】

武具の一種で、胴体を守る木製の鎧、木甲と呼ばれます。鎧の背中部分の破片で、浮彫風に加工され、外面に黒漆が塗られています。弥生時代後期後半の井戸から他の木製品とともに出土しました。弥生時代の木甲は大変珍しい資料で、和歌山県内では唯一の出土例です。



平野のムラで争いが？

③銅鏃【井辺遺跡出土】

井辺遺跡の中央の集落と耕作地の付近から出土しました。武器の一種である矢の先に装着する青銅製の鏃（矢じり）です。鏃の先の部分は断面が菱形で、木製の柄に装着する根元の茎は断面が楕円形です。写真左の完全な形のもので長さが約4cmです。古墳時代初頭の堆積層から出土しました。



井辺の大地を耕したクワ

④農耕具（^{のうこうぐ} 鋤・^{くわ} 泥除け）【津秦Ⅱ遺跡・井辺遺跡出土】

津秦Ⅱ遺跡から井辺遺跡の北半にかけて、北東から南西に向かって谷状の低地が広がっていました。そのような低地は、水路を引きやすく耕作に適していたため、水田や畠として利用されました。その耕作地付近から、木製の農耕具が見つかりました。写真左は固いアカガシ製の鋤の刃で、写真右は鋤に取り付けた泥除けです。



水辺にすてられた土器の謎？

⑤土器【井辺遺跡出土】

弥生時代後期から古墳時代前期にかけて、井辺遺跡の東端の山裾には、北から南に向かって自然の河川が流れていました。その河川からは、農業用水や生活用水、または集落の境を区切る溝のように、様々な形で水が引かれて利用されていたようです。河川からは、集落で使われて捨てられた土器が大量にみつけられました。



弥生・古墳時代のムラ

市内津秦・井辺・神前周辺

せんなひやくねん
千七百年
前の大地
を耕した
農具！



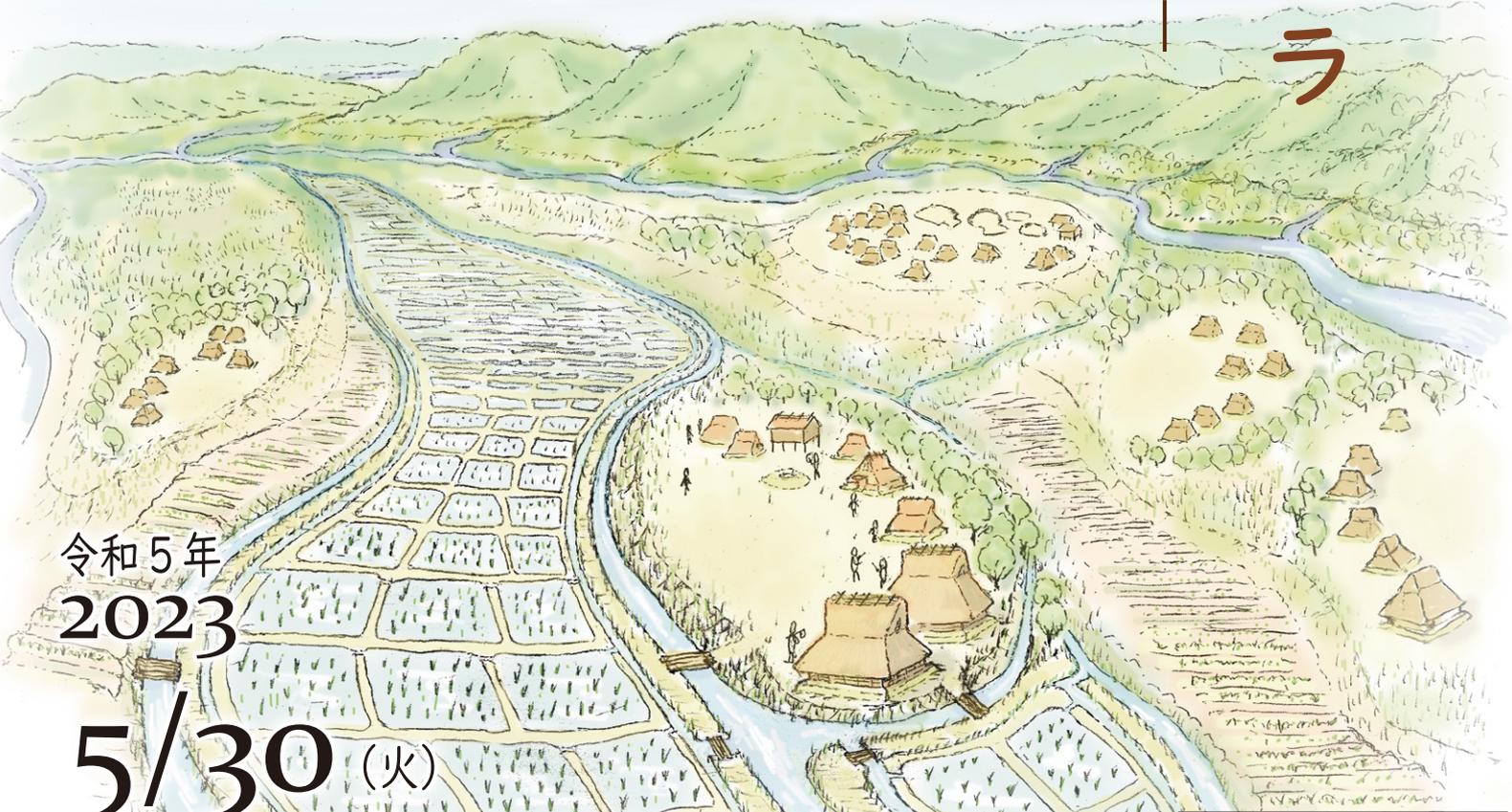
いんべ
井辺の豪族が
座った腰掛？

みずべ
水辺に捨てられた
大量の土器の謎？



わかやま へいや かいたく ひとびと ものがたり
和歌山平野を開拓した人々の物語...

はくつちょうさ やよい じだい こふん じだい じゅうきよ すいでん あと はっけん とち
発掘調査で弥生時代から古墳時代の住居や水田の跡などが発見され、土地のなりたちや
ひとびと
人々のいとなみがわかってきました。当時の土器や木器などの生活用具とともに、ムラ
を
しぜんさいがい あと は しよくぶつ ぶんせきけつか しょうかい
をおそった自然災害の跡や、生えていた植物の分析結果なども紹介します。



令和5年
2023

5/30 (火)
~ 6/18 (日)

休館日：月曜日
開館時間：9時~17時（入館は16時30分まで）
入館料：一般100円（高校生以下は無料）
※和歌山市の老人優待利用券をお持ちの方は無料
※団体（20人以上）は2割引

